

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成30年度 第1回総会議事録**

平成30年5月31日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議
平成30年度第1回総会議事録

日時：平成30年5月31日(木)午前9:55～
場所：福島県庁本庁舎2階第2特別委員会室

議事の経過及び内容

午前9時55分、遠藤康浩事務局長の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ

川上雅則会長（JA福島中央会 常務理事）

2. 議長選出

事務局長から、慣例により川上会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。

3. 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には全国農業協同組合福島県本部渡部米穀部長、福島県米麦事業協同組合小木専務理事、書記にJA福島中央会農業対策部農業振興課一橋を選任した。

4. 定足数確認

議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席、委任状出席を含め全員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。

5. 報告事項

「報告第1号 平成29年度下期内部監査の結果」、「報告第2号 水田農業をめぐる情勢」、「報告第3号 平成30年度福島県水田フル活用ビジョン（協議案）」について議長から、事務局に報告を求めた。

報告事項説明

報告第1号、報告第2号は遠藤事務局長、報告第3号は大波事務局長（県水田畑作課長）が説明した。

議長より議場に意見・質問を求めたが、特になく議事に移った。

6. 議 題

議長より「議案第1号平成29年度事業報告および収支決算書の承認」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 遠藤事務局長

議長より議場に意見・質問を求めたところ、福島第一食糧卸協同組合眞鍋部長より発言があり、遠藤事務局長が回答した。

福島第一食糧卸協同組合眞鍋部長

「1. 事業実施概況」に「非主食用米への転換を強力に推進する必要がある。」とあるが非常に大切なこと、現実的には具体的手段として備蓄米しかないと考える。

県中地方での意見交換時にも米価への危機感をもった業者が備蓄米へ取組まないといけないと話していた。早めの情報提供があれば組合としても取組めるので、逐次情報提供していただきたい。

遠藤事務局長

「報告第2号の水田農業をめぐる情勢」にある各地域農業再生協議会宛の文書の中にあるとおり、備蓄米の6月末最終入札に向け、これからも推進していきたい。

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、採決に入った。

議長より「議案第1号平成29年度事業報告および収支決算書の承認」について挙手による採決を求めたところ、全員賛成のため、議案第1号は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署名人がここに署名し、押印する。

平成30年5月31日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

全国農業協同組合福島県本部 米穀部長

議事録署名人

福島県米麦事業協同組合 専務理事